

笠原地域「災害について考える講座」を開催しました

10月30日(土)、障害福祉サービス事業所なごみの杜 かさはら(笠原町)で、災害について考える講座を開催し、笠原地域の住民と福祉施設の職員が参加しました。

講座では、地震の揺れによる建物や家具の倒壊など、地震災害をもたらす危険と災害対策の基本的な考え方について、多治見市情報防災課の担当者が話した後、防災士が家具固定の重要性について、模型を使い、固定方法などを説明しました。そのほか、笠原町で活躍する災害救援ボランティアによる活動内容が紹介されました。

参加者は、災害が起きたときに支援が必要な方への対応など、地域で支援体制を整えることの大切さについて考え、「自分たちの住む地域の福祉施設に関心を持つことが重要」「もしもの事態に備え、日頃から施設と住民との交流が大切」と、意見を交わしました。



多治見の お元気さん

今日のお元気さんは、京町の
横山康夫さん(78歳)です。

子どもたちが、元気で安全に登校できるように、地域で見守り活動を行っています。毎朝、通学路の横断歩道に立ち、安全に道路を横断できるよう子どもたちを誘導しています。子どもたちは、横山さんの「おはよう！」のあいさつに、元気に答え、はつらつと登校しています。



横山さんのやりがい(本人執筆)

「おはようございます」「おはよう、今日も元気で気を付けてね」のあいさつで一日がスタートします。子どもたちの元気な姿を眺め、一日の無事を祈りつつ、登校の児童たちの顔を眺めることで若いエネルギーを頂いております。平成17年から横断歩道での安全を祈る今日この頃です。ありがたいことに、6年の間、自転車と通過車両の事故に遭遇しましたが、幸いにも人身事故には至っていないのが、何よりも充実感を与えてくれます。「今日も元気で気を付けてね」を合言葉に頑張れる毎日です。

障害者福祉センター 俳句コーナー

一人居を 支えてをりし 虫の声
松原 まち子

草相撲 父を相手に 勝ちたいな
荻原 敦

年末年始の休館日のお知らせ

12月29日(水)～1月3日(月)

総合福祉センター(太平町)

サンホーム滝呂(滝呂町)

ふれあいセンター姫(大針町)

かさはら福祉センター(笠原町)

児童館・児童センター(市内13カ所)

この広報紙「ふれあい」について、皆様からのご意見を募集します

本紙は、福祉に関するさまざまな情報を分かりやすくお知らせすることを目指し、毎月15日に40,600部発行しています。関心があることや知りたいこと、ご覧になった感想や改善のための意見などを電話、FAX、またはメールでお聞かせください。いただきましたご意見は、広報紙づくりの充実に活用します。

電話(25)1131 FAX(25)1132 Eメール tajimi_fureai@yahoo.co.jp <担当>古山



リサイクル紙と植物性大豆油インキを使用しています。